

図書館だより

# しらかば

図書館だよりのタイトルは小樽市の木シラカバ（シラカバ）にちなんで命名。

市立小樽図書館

〒047-0024 小樽市花園 5-1-1

TEL (0134) 22-7726/FAX (0134) 34-0733

[https://www-std-pub02. ufinity. jp/otaru\\_lib/](https://www-std-pub02. ufinity. jp/otaru_lib/)

令和6年

# 1

Jan.

第438号

新年あけましておめでとうございます  
本年もどうぞよろしくお願ひいたします

休館日■黒い枠

1月 図書館カレンダー							12月8日現在
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	
	1	2	3	4	5	6	
7	8 <small>祝日開館</small>	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

## イベントについて

図書館では行事を開催する際、定員のある行事は申込制となっております。参加希望の方はお申込みください。

行事の詳細については、5、6ページをご覧ください。

・図書館の来館に際しては、体調にご留意ください。

・マスクの着用は個人の判断にお任せしております。

・咳エチケットにご協力ください。

## 開館時間

火～金は午前9時半～午後7時まで  
土・日・祝日は午前9時半～午後5時まで



## 休館日

1月 曜日 日 15日・22日・29日  
館内整理休館日 26日（金）  
年始休館日 1日（月）～3日（水）  
※祝日（1/8成人の日は開館いたします）

2月 曜日 日 5日・19日・26日  
館内整理休館日 16日（金）  
※祝日（2/11建国記念の日・12振替休日・23天皇誕生日は開館いたします）

## 2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 <small>祝日開館</small>	12 <small>祝日開館</small>	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 <small>祝日開館</small>	24
25	26	27	28	29		

## 予約ベスト5

( ) の人数はR5. 12. 8現在の予約人数です。

- ◎あなたが誰かを殺した (東野 圭吾) (70人)
- ◎ヒロイン (桜木 紫乃) (42人)
- ◎魔女と過ごした七日間 (東野 圭吾) (41人)
- ◎汝、星のごとく (凧良 ゆう) (40人)
- ◎街とその不確かな壁 (村上 春樹) (38人)

## 今月のおすすめ本

書名の前の数字は分類番号です。



596.2

「世界の朝ごはん、昼ごはん、夜ごはん」

ニキズキッチン 著

自宅で教える料理教室『ニキズキッチン』に所属する日本在住の講師が、約30か国のごはんやおやつレシピを紹介。使用する食材や調味料が多種多様なのに加え、朝昼晩の重きの置き方が各国で違っていたり（そもそも1日3食ではなかったり）、色々な食習慣にも驚きと発見があります。写真や食器も美しく、旅気分を味わいながらテーブルコーディネート  
の参考にもなる一冊です。(K・H)



## ハート職人、今夜も夜なべ？

### 「ああ、雪・・・」の巻

数年間、家族の看病が重なった頃があった。その頃はまだ白髪は少なく、体力があった。それでも大変だと思っていたが、老老介護は本当に辛いだろうと思う。しかし「老老」が付く状況は介護に限っていない。最近耳にしたのは「老老除雪」だ。住民の高齢化で除雪するのが困難になってきているという話だ。我が家近辺も空き地の増加。誰がするのか？どこまでするのか？そんな場所が増えた。すでに高齢者に分類される身の上（近所では若干、若いかも。しかしバスでは席を譲られ素直に座った。）としては切実な問題だ。「歩ける幅だけ除雪したらいいべさ。」と滅多に除雪しない人は寝転びながら悠々と言う。出来る人が除雪するというのは素晴らしいお互い様の精神なのだが、年々辛い状況になってきた。どうか降らないで！と天に祈るしかない。除雪機を購入しようと思った時がある。実際、ホームセンターにも見に行った。しかし実物の機械の大きさに驚いた。当然、価格も高い。その上、ガソリンを使うタイプばかりだった。燃料となるガソリンを購入するのも大変そうだ。ガソリンの携帯タンクの管理も大変だ。タンクの加熱による事故というのがあったはず。それやこれや、なんだかんだ考えて、購入は断念した。（今朝も除雪かな？起きたくない！！けどタベは出来なかったし、やらねば・・・）と渋々、除雪ファッションに着替えて外に出たら、あら、不思議。綺麗に除雪が完了していた。自分で除雪した覚えはないが心当たりはあるのだ。近所の『機械持ちさん』が除雪してくれたのだろう。そしてその後は時々その好意にどっぷりと首までつかってしまうわけだ。『機械持ちさん』の堪忍袋の緒が切れないように、笑顔が消えないように、祈る日々が続く。

# 小説類



「夜明けのはざま」 町田 そのこ 著  
地方都市の寂れた町にある葬儀社。親友の自死の知らせを受けた葬祭ディレクター、元夫の恋人の葬儀を手伝う花屋。死を見つめることで、自分らしさと生への葛藤と決意を描く。

「鋼の絆」 五十嵐 貴久 著  
日本中の精鋭を揃える最強の消防軍団のメンバーを選抜する研修に、体力も技能も劣る夏美が選ばれた。鬼教官の容赦ない訓練についていけない夏美。そんな中、大規模なマンション火災が起こる。



「天神参り」 山本 一カ 著  
ツボ師の異名を持つしんきゅう師である父に弟子入りした娘を嗅ぎまわる渡世人たちの正体は？戯作者を目指す長男の元へ破格の縁談が持ち込まれるが…。

「デウスの城」 伊東 潤 著  
彦九郎と善太夫、左平次は、幼馴染のキリシタン侍。関ヶ原の戦いに敗れて主家を失い、全く別の道を歩むことになった3人は、島原の乱で敵同士となり再会を果たし…。

## 随筆



「神と黒蟹県」 絲山 秋子 著  
日本のどこにでもあるような「地味県」の黒蟹県。そこで暮らす、そこを訪れる、名もなき人々や半知半能の神がすれ違いながら織りなす、かけがえなく、いとおいしい日々を描く連作小説集。



「おいしいふ〜せん」

角野 栄子 著  
たんぼぼの汁に亡き母を思った子ども時代、弟と1個の卵を分け合った戦時下、バカヤローという魚に出合ったブラジル生活。食をテーマにした絵日記。

「ともぐい」 河崎 秋子 著  
明治後期、人里離れた山中で犬を相棒にひとり狩猟をして生きていた熊爪は、ある日、血痕をたどった先で負傷した男を見つける。男は、冬眠していない熊「穴持たず」を追っていたというが…。

「桃を煮るひと」 くどう れいん 著  
家事なんかしてる暇ないくらい忙しい自分と、いきいきと夕飯を作る自分をどうしても両方やりたい。食をテーマにしたエッセイ集。



「山ぎは少し明かりて」 辻堂 ゆめ 著  
佳代、千代、三代の三姉妹が暮らす瑞ノ瀬村にダム建設計画の話が浮上する。愛する村が、湖の底に沈んでしまう。佳代は愛する夫とともに、故郷を守ろうと奔走するが…。

## その他

書名の前の数字は分類番号です。

「こちら空港警察」 中山 七里 著  
国際空港を守る空港警察の署長に新たに着任した仁志村は、柔和な笑顔で視察をするが、一転して派手なパフォーマンスで違法薬物の密輸を防ぐ。そんな姿に、空港職員の咲良は畏怖を覚え…。

953.7 「人類の深奥に秘められた記憶」

モアメド・ムブガル・サール 著  
1938年に1冊の本でパリの文壇の話題をさらい、盗作のかどで消えてしまったセネガル人作家エリマン。彼は一体何者だったのか？現代のくすぶる若手小説家ジェガーヌが、その軌跡を追い求め…。

「星を編む」 凧良 ゆう 著  
才能という名の星を輝かせるために、魂を燃やす編集者たち。漫画原作者・作家となった権を担当した2人の編集者がつないだものとは。「汝、星のごとく」の続編。



973 「甘くない湖水」

ジュリア・カミニート 著  
貧しさや不条理におしつぶされ、母の厳格さにも息苦しさを覚え、鬱積した心の闇から、次第に暴力的な衝動に駆られていき…。湖畔の貧困家庭で育てられた少女の心の渦をつぶさに描いた傑作長篇。

# 新着一般書

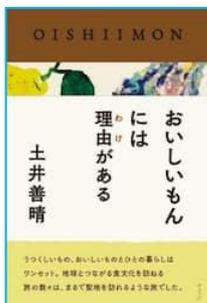
書名の前の数字は分類番号です。

019.9 「みんなのなつかしい一冊」  
池澤 夏樹 編  
「あしながおじさん」「カラマーゾフの兄弟」  
「人を動かす」…。内田樹、齋藤孝、茂木健  
一郎ら、人気作家50人が、古い友だちのよ  
うなく大切な一冊を紹介するブックガイド。  
『毎日新聞』連載を単行本化。

159.6 「だれかになりたいんじゃない、  
わたしを好きになりたい」 船山 葵 著  
いつもより丁寧にスキンケアをして、  
一目惚れしたコスメを買って  
大好きな香りを身に纏う…。人と  
比べることに疲れてしまった人  
に向けて、自身の経験に基づいて、  
日々の自分を大切にするための美  
容習慣とマインドを紹介する。



383.8 「おいしいもんには理由がある」  
土井 善晴 著  
美しいもの、おいしいものとひと  
の暮らしはワンセット。日高昆  
布、奥飛騨山椒、赤福餅…。料  
理家・土井善晴がキッチンを飛  
び出し、全国の食文化を旅す  
る。東海道・山陽新幹線グリー  
ン車搭載誌『ひととき』連載を  
もとに書籍化。



498.5 「熱狂と欲望のヘルシーフード」  
畑中 三応子 著  
平成から今日までを中心に、日本人が累々と  
築いてきた健康食とダイエットの足跡をた  
どる。明治時代から昭和にかけてのはずせな  
いエピソードも紹介。健康と痩身を軸にした  
食の流行を通じた日本人論を描き出す。

593.36 「こどものあそびぎ」  
玉井 健太郎 著  
お花屋さんのドレス、シェフエプロン、芸術  
家のようなオールインワン…。子どもたちの  
創造力をかきたて、機能と遊び心のあるデザ  
インが魅力のあそびぎを紹介します。90～  
120cmサイズ展開。



594.3 「左利きさんのためのはじめての棒  
針編み」 佐野 純子 著



左利きの棒針編み初心者  
に向け、左利き専用の編み  
図とプロセス写真で基本  
の編み方を丁寧に解説。エ  
コたわし、あみぐるみ、ポ  
ンチョ、マフラーといった  
小物の編み方も紹介します。

659 「獲る食べる生きる」 黒田 未来雄 著  
NHK自然番組ディレクターだった著者は、カ  
ナダの先住民を訪ねた。人間がこれからも地球  
で生き続けるための知恵=先住民の思想と生き  
方に魅せられた著者が、NHKを退職して「獵  
師」になるまでの軌跡を綴る。

783.7 「超一流の思考法」 鶴岡 慎也 著  
栗山監督時代の日本ハムで  
ダルビッシュの球を受け、  
大谷翔平のプロ初勝利をア  
シスト。WBCにも同行し  
た著者が、第5回WBC優  
勝の裏側と、超一流たちの  
凄さの秘密を紹介する。



814 「意味変語彙力帳」 神永 暁 監修  
「触り」の部分」「議論が“煮  
詰まる”」「穿った見方」など、  
世代によって意味の理解が違  
う言葉を日常語の中から厳選。  
「本来の意味」と「変化した意  
味」との違いを、マンガや用例  
を使ってわかりやすく解説す  
る。



912.7 「破れ星、燃えた」 倉本 聰 著  
NHKとのトラブル、応えられなかった石原裕  
次郎からの依頼、富良野移住と「北の国から」  
の誕生、先に逝ってしまった数々の盟友たち…  
大脚本家・倉本聰の痛快無比な自伝。『サンケ  
イスポーツ』連載を加筆し書籍化。

## 児童資料

「えほんのしゅやくはなにたろう？」

おおの こうへい 著  
りんごたろう、くりたろう、たまごたろう、ア  
イスたろう…。もしも、ももたろうが他の食べ  
物から生まれたらどんな感じだろう？子どもの  
想像力を育てるユーモア妄想絵本第3弾。

「嫌な気持ちになったら、どうする？」

中村 英代 著  
ちょっとした不安、寄る辺ない寂しさ、誰かへ  
の激しい怒りなど、ネガティブな気持ちになる  
ことは誰にでもある。そうした気持ちの特徴や  
性質を解説し、上手に対処する方法を伝える。  
弱ったあなたに寄り添ってくれる一冊。

「忘れもの遊園地」 久米 絵美里 著  
忘れものをして慌てるトラタとレミに声をかけ  
てきたおじいさん。忘れもの遊園地の園長だと  
名乗り、タブレットに「忘れたい記憶を書きこ  
み投稿すると、その記憶は遊園地のエネルギー  
に変わり、忘れものは手に入る」というが…。

## 「たるばとクラブ」

たるばとクラブは、おはなし会や工作、アニメの上映な  
ど、図書館に来るのがもっと楽しくなる時間です。

【日 時】 いずれも土曜日

午後2時～3時

①1月20日（1月6日はお休み）

②2月3日（2月17日はお休み）

【場 所】 図書館2階 視聴覚室など

【対 象】 どなたでも

【申込み】 不要

【内 容】 ①「今年の干支を楽しもう！」  
今年の干支・辰にちなんだおはなし会や遊び  
など。

②「どさんこ絵本作家あべ弘土さんを  
とことん！」

どさんこ絵本作家あべ弘土さんをテーマにし  
たおはなし会や工作など。



## 「乳幼児向けおはなし会 たるぴよタイム」

絵本の読み聞かせや手遊びなどのおはなし会です。

【日 時】 いずれも金曜日 午前11時～11時半

1月12日、19日（1月5日はお休み）

2月2日、9日、23日

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 乳幼児とその保護者 【申込み】 不要

## 「ぐうちよきばあのおはなし会」

「おたる子ども劇場ぐうちよきばあ」の皆さんによる絵  
本の読み聞かせや紙芝居などの楽しいおはなし会です。

【日 時】 1月10日（水）

2月14日（水）

午後3時半～4時

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

## 郷土



令和5（2023）年は運河竣工100周年の年です。当館は第一弾として展示「小樽運河100年のあゆみ展」（会期：9月8日（金）～10月1日（日））を開催し運河に関する資料、絵はがき、写真などを展示しました。第二弾は小樽観光ガイドクラブ顧問山川隆氏による第9回「小樽まちかど再発見」を9月30日（土）に開催しました。そして第三弾は、フリーライターの渡辺真吾氏をお迎えした講演会「新聞に見る小樽運河の歴史」を11月12日（日）に開催しました。氏は北海道新聞に「しりべし鉄道いま昔」と題してコラムを連載。また著書「新聞記事万華鏡」では昔の新聞記事を紹介されています。講演会では明治から大正にかけての運河論争について、新聞記事を読み解きながら解説していただきました。

# 行事予定

1月

2月

催し

## おたる図書館シネマ座（映画鑑賞）

### 「晩春」

1月14日（日）午後1時半～午後3時半

図書館2階 視聴覚室

1949年日本制作。小津安二郎監督。笠智衆主演。娘の紀子と2人で暮らす大学教授の周吉は、27歳になって未だに嫁に行く意志を見せない紀子のことを心配していた。周吉の妹まさは、紀子に縁談を持ち込む一方で周吉の再婚も勧める。紀子は自分よりも父の方が気になりだし…。(白黒)

### 「麦秋」

2月11日（日）午後1時半～午後3時半

図書館2階 視聴覚室

1951年日本制作。小津安二郎監督。原節子主演。植物学者の周吉を家長に、長男の康一家とその妹・紀子が共に暮らす間宮家。家族は紀子の結婚を心配するが、紀子は亡くなった次男の親友で子持ちの謙吉との結婚を独りで決めてしまう。家族の幸福な時と別れを描く人間群像劇。(白黒)

## 「ミュージックプロムナード」(音楽鑑賞)

【日時】1月28日（日）午後1時半～2時半

【内容】「ランプと硝子の歌謡曲」

小樽雪あかりの路にちなみ、ランプと硝子を扱った歌謡曲を特集

【対象】どなたでも

【場所】図書館2階 視聴覚室

ON AIR

F Mおたる「お昼だよ、この声と～まれ!」市立小樽図書館便り

1月10日（水）午後1時半～

毎月第一水曜日（今回は年始休館日のため第二水曜日）に図書館職員が出演し、予約ランキングやイベント情報、おすすめ本などを紹介しています。職員の生の声でお届けするフレッシュな情報の数々…ぜひ、お聴きください!

## 紙のステンドグラス

### 「ローズウィンドウ・ワークショップ」

【日時】1月21日（日）午後1時～3時

【講師】ぜにや ひさこ 銭谷 寿子氏

【内容】ローズウィンドウ（紙で作るステンドグラス）が作れます。今回は、初級編として、簡単な図案を選んで作成します。初心者の方でも、先生が丁寧に教えてくださるので、安心してご参加ください。

【材料費】500円

【持ち物】筆記用具（シャープペン）

【対象】高校生以上

【定員】15名（先着）

【場所】図書館2階 視聴覚室

【申込み】受付中



## 展示

### 資料展示「国民の祝日特集」

【日時】1月11日（木）～1月25日（木）

【内容】現在、日本の国民の祝日は16日あり、その中には、近年に制定されたものや、名称・日時が変わったもの、あるいは毎年、日時が変動するものなど、様々です。そこで、一年の始まりに「国民の祝日」について学んでみませんか？祝日や年中行事に関する図書を展示・貸出

【場所】図書館1階 エントランス

